

感染症情報 11月6日～12日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①溶連菌感染症	826例(堺市	87例)
②感染性胃腸炎	779例(堺市	67例)
③咽頭結膜熱	723例(堺市	57例)
④手足口病	108例(堺市	10例)
⑤突発性発疹	35例(堺市	3例)

府下305医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 3,883例(堺市 430例)

報告数による順位である。前週比17.3%増の2,592件の報告であった。溶連菌感染症が1位になった。府下で24%増、堺市は前週71例→今週87例であった。感染性胃腸炎が府下で前週比16%増、堺市で前週88例→今回67例であった。咽頭結膜熱が府下で11%増、定点当たり3.31→3.67であった。大阪府では11週連続で警報レベル3以上。堺市で前回52例→今回57例。定点当たり2.74→3.00であった。手足口病が府下で44%増、堺市で前回5例→今回10例であった。

インフルエンザが府下で前週比4%減、堺市で2%増であった。定点当たり大阪府は13.27→12.73になった。堺市は14.55→14.83であった。

府下305医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 414例(堺市 34例)
大阪府定点 1.36 堺市定点 1.17

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
11	47	26	41	47	35	43	38	34	42	50	414

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前週471例→今回414例は12%減、定点当たり1.54→1.36であった。堺市は前週58例→今回34例で41%減、定点当たり2.00→1.17と大幅に減った。

麻疹や風疹の報告はなかった。